

令和2年度 佐賀県学習状況調査の結果（12月2、3日実施・6年生）

- ◎ 本資料では、東部小学校全体（各学年）の結果について考察しています。別紙にてお知らせしている、「お子様の個票（調査結果票）」や、後日配布します問題用紙及び解答用紙と併せて振り返っていただき、今後の学習に活かすことができるような資料としてお役立てください。

1 【国語】

(1) 結果（県の正答率との比較）

「思考・判断・表現」、「読むこと」については、到達基準（県の定めた期待正答率：それぞれ55.7、54.0）を上回りました。

しかし、言葉に関する「知識・技能」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」については、到達基準（それぞれ65.0、55.0、58.0）を下回りました。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

知識・技能

- ・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと、ことわざや慣用句、故事成語の意味を理解すること、国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解することに課題が見られました。

話すこと・聞くこと

- ・ 自分が聞こうとする意図に応じて、話題を決めることができます。一方で、目的に応じて質問したいことを整理すること、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題が見られました。

書くこと

- ・ グラフを基に分かったことを的確に書いたり、目的や意図に応じて事実と感想、意見を区別して書いたりすることができます。一方で、情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えたり、文末表現の使い方に注意して書いたりすることに課題があります。

読むこと

- ・ 段落相互の関係に着目して読むことがよくできています。一方で、文章と図表などを結び付けて読むこと、目的に応じて必要な情報を見付けること、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題があります。

2 【算数】

(1) 結果（県の正答率との比較）

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「数と計算」、「変化と関係」、「データの活用」については、到達基準（それぞれ51.1、42.5、45.7、42.0、54.0）を上回りました。また、「図形」については、到達基準と同じ（40.0）でした。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

数と計算

- ・ 示された情報を基に道のりを考えること、示された計算の仕方を解釈し、かける数やわる数を選んで、計算しやすい式にして計算することができます。一方で、分数のわり算の計算の意味や答えの求め方の理解に課題があります。

図形

- ・ 点対称の図形の特徴や、円の半径と面積との関連性の理解、また、比の性質を利用して全体の量を求め、条件に合うように説明することに課題が見られました。

測定・変化と関係

- ・ 示された情報を基に数量の関係を捉え、問題の条件に合わせて説明すること、基準量と割合から割り引き後の代金（10%引き）を求めることに課題があります。

データの活用

- ・ 棒グラフから事象の傾向を読み取ることができていました。一方で、示された情報を基に、答えやその理由を言葉や図を使って書くことに課題があります。